

1 国語に関する調査

【特長】

- ・自分の考えを深めるためには、他の意見や考えをよく聞き、比較しながら自分の考えを見直すことが大切であることを理解している。
- ・我が国の言語文化に関する事項についての問題では、時間の経過による言葉の変化や、世代による言葉の違いに気付くことができている。今後も読み聞かせや読書活動の時間を確保し、自分たちの言葉への関心を高めていきたい。

【課題】

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題が見られる。繰り返しの漢字書き取り練習だけでなく、漢字の意味や使い方を理解し、他の教科等でも日常的に漢字を使っていくよう指導していきたい。
- ・書くことにおいて、相手に伝わるように文章を書くことに課題が見られる。様々な教科を通して、自分の考えが伝わるように、図や表、理由などとともに文章を書く活動を増やしていく。

2 算数に関する調査

【特長】

- ・角の大きさについての問題の正答率が高い。角をつくる二つの辺をのばしても、角の大きさは変わらないことを理解している。
- ・「新品のハンドソープが空になるまでに何プッシュすることができるのか」を調べるために必要な事柄を選ぶ問題では、伴って変わる二つの関係に着目し、必要な数量を見出すことができている。

【課題】

- ・平行四辺形をコンパスを用いて作図することができるかどうかを見る問題の正答率が低い。平行四辺形や台形等、図形の意味や性質を理解した上で実際に作図する活動を取り入れ、図形に関する理解を深めていきたい。
- ・「10%増量した後の量が、増量前の何倍になっているか」という問題の正答率が低い。割合の基本的な意味を理解し、日常生活に生かせるような学習活動へと広げていく。

3 理科に関する調査

【特長】

- ・水のしみ込み方や電気回路の問題では、変える条件や変えない条件を整理し、問題を解決するまでの道筋を構想して自分の考えをもちながら観察・実験をすることで、正しい理解につなげることができている。

【課題】

- ・花のつくりや発芽の条件についての問題の正答率が低い。顕微鏡などの器具の基本的操作を振り返るとともに、既習の事項から予想を立てて実験の方法を計画することを再確認していきたい。

4 児童質問紙の結果より

【特長】

- ・ほとんどの児童が「いじめはどんな理由があってもいけないこと」「人が困っているときは進んで助ける」と回答している。優しさをもち、日頃から思いやりや協調性を意識して生活している様子が伺える。
- ・「学級会での話し合いでは、互いの意見の良さを生かして問題解決をしている」と回答した児童が多い。学校生活を自分たちで良くしていこうとする前向きな姿勢が見られる。

【課題】

- ・放課後や週末に家庭で学習に取り組む時間が 1 時間以下、と回答した児童の割合が高い。家庭と連携し、児童が自ら、学習した内容の定着を図ったり深めたりしていけるような声かけを継続していきたい。
- ・タブレット端末等の ICT 機器を、学習の中で上手に使いこなしきれていないことが伺える。調べ学習のみならず、発表のスライドを作成したり、自分の考えや意見を友達と伝え合ったりする等、タブレット端末を用いた学習の充実を図っていく。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・授業の始めに、学習目標を示し、終わりに学習の振り返りを行うことで、学習の定着を図る。また、指導法や教材研究を深め、児童の基礎基本の定着を図る。
- ・より効果的に ICT 機器を学習の中で使用できるように、調べ学習のみならず、発表のスライドを作成して伝え合ったり、友達と意見を共有して自分の考えを見直したりするような授業の工夫をしていく。
- ・「ことば」を介して授業中に友達と意見交換し、学級会等で話し合い活動を今後も継続して取り入れていくことで、丁寧に正しく話す、聞く習慣を身に付けていく。
- ・優しい言葉遣いや相手を思いやる行動が定着するよう、オンラインゲーム、SNS 等のルールの徹底やあいさつの大切さ等を日常的に伝えていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・スマートフォンやオンラインゲーム、SNS 等の扱いに関してご家庭でのルールを確立し、規則正しい生活が送れるよう、内容や利用時間を確認する等日々の見守りをお願いします。
- ・自主的に計画を立てて家庭学習や読書に取り組む習慣が付くよう、ご家庭での励ましや、図書館に足を運ぶ等、環境づくりへのご協力ををお願いします。
- ・「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と、意欲的な児童が多いです。地域の一員としての意識がさらに高まるよう、地域行事や公民館での催し物等に、ぜひご家族でご一緒に参加してみてください。